

取扱説明書

赤外線式放射温度計

MODEL **SRT-300**



NETIS 国土交通省新技術登録システム

登録番号 : KT-100107-VR

(2015年評価更新)

SAKAI®

まえがき

この取扱説明書は、赤外線式放射温度計「SRT-300」（以後、本器と呼ぶ）を安全にご使用頂く為のガイドブックです。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分理解された上で正しくお使いください。また、お読みになった後も、必ず製品に近接して保管してください。

取扱説明書を紛失または破損して読めなくなった場合は、速やかに交換してください。

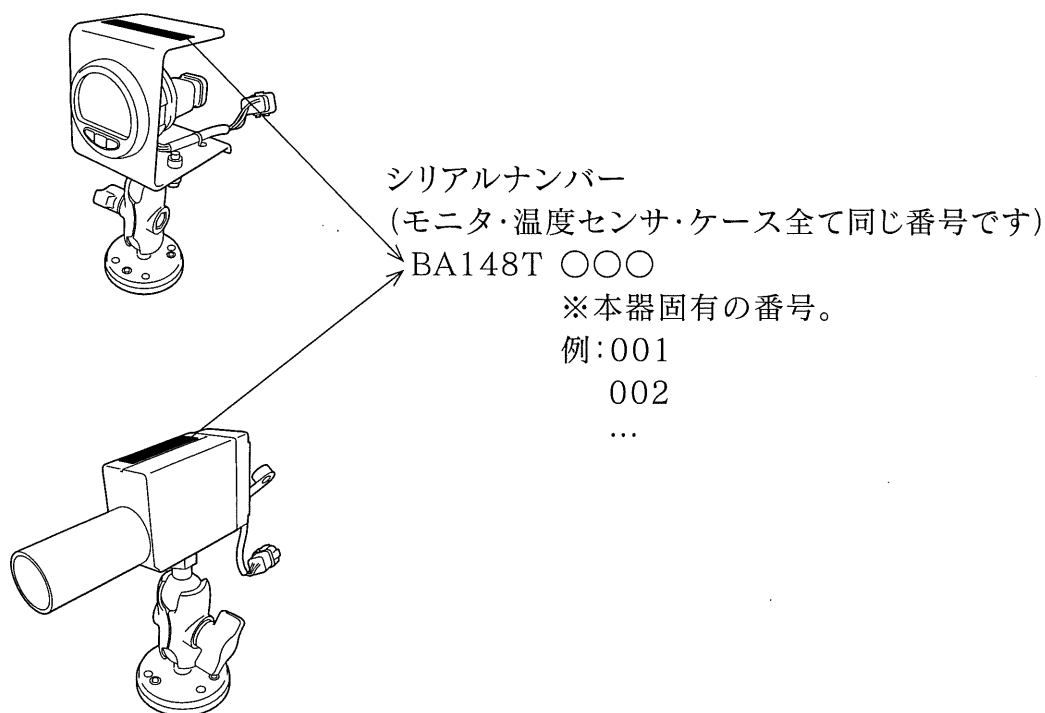
本器を他人に貸したり、使わせる場合は、取扱い方法をよく説明し、また、あらかじめこの「取扱説明書」を読むように指導してください。本器を譲渡する場合には、この「取扱説明書」を譲渡してください。

本器の改良のため、この取扱説明書の内容の中に、お買上げの製品と詳細において異なる場合があります。

本器についてご不明な点やお気付きの点などある場合、また、故障の際は、ご購入頂いた販売店へご相談ください。

本器のシリアルナンバーは、下図に示す部分に記載されています。

販売店へご相談の際は、このシリアルナンバーもお伝えください。



もくじ

1 安全と製品維持に係わる注意事項	1
2 装置概要	2
3 温度センサの測定距離と測定径	3
4 同梱品一覧	4
5 製品各部の名称と機能	6
5.1 モニタ	6
5.2 温度センサ	8
5.3 専用ケース	9
6 設置方法	10
6.1 温度センサの設置	10
6.2 モニタの設置	11
6.3 電源ケーブルの設置	12
6.4 配線作業	13
7 使用方法	14
7.1 立ち上げ画面	14
7.2 温度設定画面	14
7.2.1 上限温度設定	14
7.2.2 下限温度設定	15
7.2.3 最適温度の見方	15
7.3 セットアップ画面	16
7.3.1 単位設定	17
7.3.2 コントラスト設定	17
7.3.3 画面明るさの設定	18
7.3.4 バージョン情報	18
7.4 その他の機能	19
7.4.1 画面シャットオフ機能	19
7.4.2 温度表示ホールド機能	19
7.5 計測	19
7.5.1 計測準備	19
7.5.2 計測	20
7.5.3 停止	20
7.5.4 計測後	20
8 トラブルシューティング	21
9 メンテナンス	21
10 センサの校正について	22
11 保証と修理	22
12 結線図	23
13 仕様	24

1 安全と製品維持に係わる注意事項

本器を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。

この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されてから、本器をご使用ください。

■目的の用途以外で使用しない

- 本器はローラへの搭載を前提としております。目的の用途以外でのご使用は避けてください。
- 本器は、赤外線を利用した表面温度計と表示器です。特にアスファルト混合物などの締固め品質を保障するものではありません。

■適切な設置をする

- 汚れや錆等を落とした水平な鉄板の上面にマグネットを使用して設置するか、適切な太さの棒もしくはパイプにクランプしてください。不安定な固定をすると、性能を発揮できないばかりか、脱落や破損の原因になります。
- ローラに備えられている前照灯、サイドマーカ、作業灯の妨げとならない場所に設置してください。

■適切な調整と設定をする

- 目標とする検知範囲が確実に得られる様、本器の位置や向きを調整してください。
- 使用条件に合わせて、設置位置を設定してください。

■未点検器は使用しない

- ご使用前は必ず始業点検を行い、本器が正常に動作し、なおかつ目標の性能を発揮できる事を確認してください。
- もし動作や性能に異常を感じた場合や破損箇所がある場合には、ただちにご使用を中止し、ご購入頂いた販売店にお問合せください。

■視界を良好に保つ

- モニタはローラを運転する際の視界の妨げにならないように設置してください。
- 運転中はモニタを凝視しないでください。事故の原因となります。

■運転中に操作をしない

- 運転中はモニタの操作はしないでください。事故の原因になります。

1. 安全と製品維持に係わる注意事項 / 2. 装置概要

■作業時以外は取外す

- ・落下等による故障防止、放置による盗難防止のため、ご使用にならない場合は、専用ケースに保管してください。
- ・公道を走行する際は、取外してください。道路運送車両法に抵触する恐れがあります。

■本器の取扱いに注意する

- ・本器は精密機器です。乱暴に扱ったり落下させたりすると、衝撃などの原因により正確な温度測定が出来なくなる場合があります。取扱いには、十分ご注意ください。

■清潔に保つ

- ・レンズに水滴や汚れを付着したままにすると計測に誤差が生じたり、故障の原因となりますので、本器のセンサ部および接続端子部は常に清潔に保ってください。

■分解・改造は絶対に行わない

- ・本器内部は、極めて繊細です。故障防止のため、本器内部を手で触れたり、本器の分解や改造は、絶対に行わないでください。
- ・本器の分解、改造を行った際は、保障期間であっても有償修理となります。
なお、保障期間は購入日から1年です。

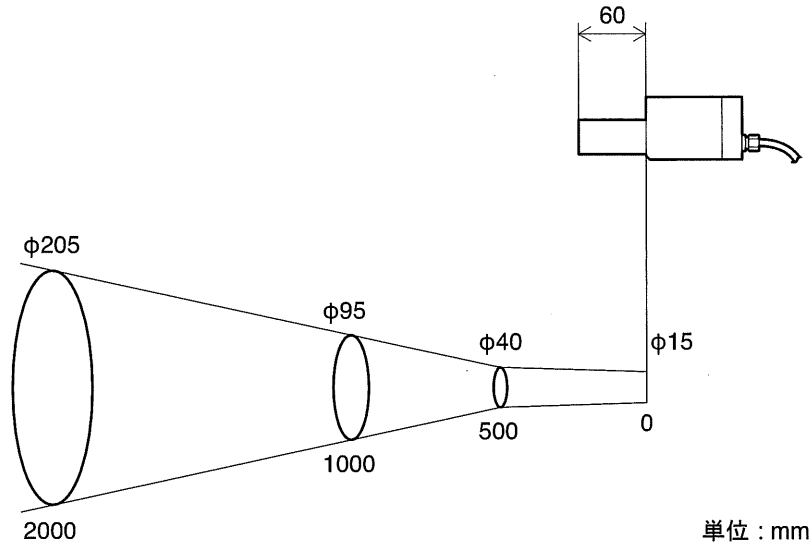
2 装置概要

本器は、加熱アスファルト混合物転圧用ローラに搭載して使用する路面温度の測定／表示／通知可能な赤外線式放射温度計です。路面に接触せずに、アスファルト舗装路面の温度を連続的に表示し、あらかじめ設定しておいた上限温度または下限温度を超えたことをオペレータに知らせ、アスファルト舗装路面の転圧条件が最適な時、そうでない時を知ることができます。

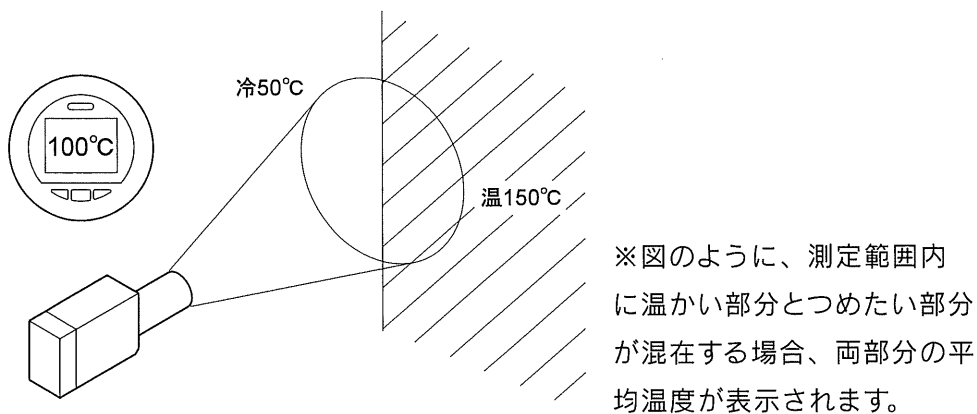
適切な温度で加熱アスファルト混合物を転圧することにより、所定の締固め品質を確保することが可能と考えます。品質管理の手段としてご使用ください。

3 温度センサの測定距離と測定範囲

下図は、温度センサの測定距離と測定径の関係を示しています。この図のように、温度センサは測定距離が遠くなると測定範囲が大きくなる性質を持っています。たとえば、温度センサを路面から1000mm離れた位置に設置した場合、約95mm径の円の範囲内の平均的表面温度を測定します。



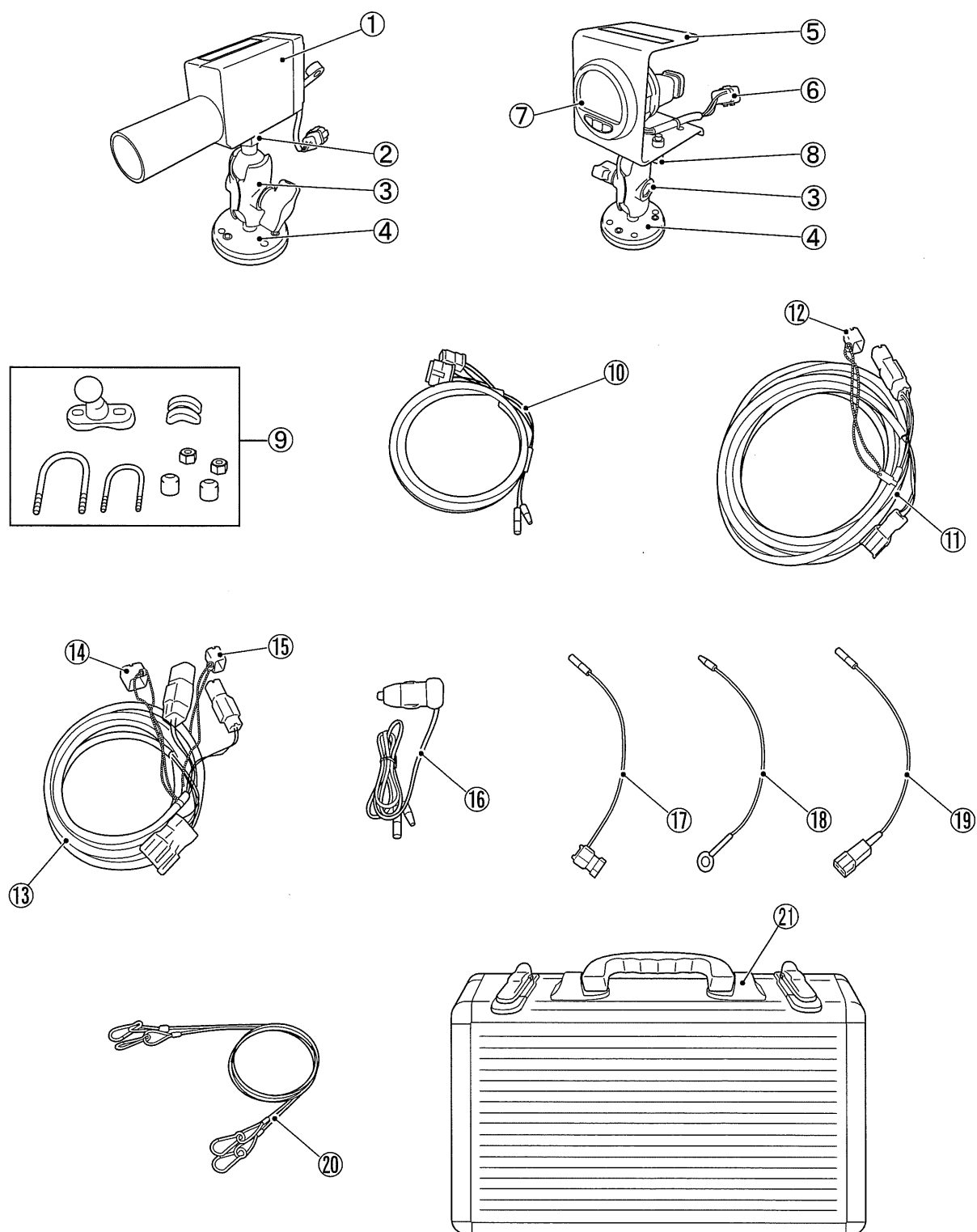
測定距離と測定径の関係図



温度センサ測定範囲と温度表示イメージ

4. 同梱品一覧

4 同梱品一覧



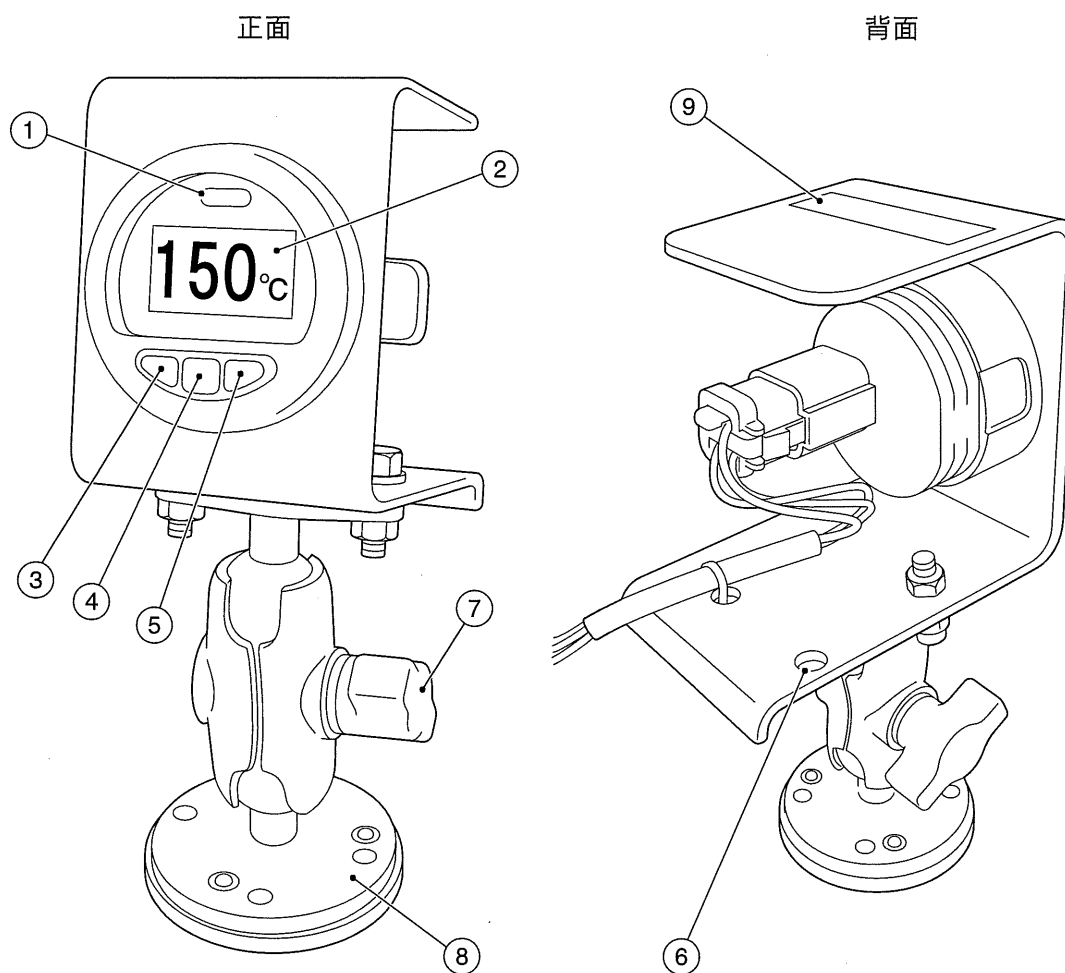
4. 同梱品一覧

No	部 品 名 称	部 品 番 号	数 量	備 考
※	温度センサキット(左図一式)	4917-66000-0	1	①～②②
①	センサ	4917-66001-0	1	
②	センサ用ジョイント	4917-66003-0	1	
③	ジョイントアーム	4917-66006-0	2	
④	マグネットマウント	4917-66007-0	2	
⑤	表示器用ブラケット	4917-66004-0	1	
⑥	表示器変換ハーネス	4917-66009-0	1	
⑦	表示器	4917-66002-0	1	
⑧	表示器用ジョイント	4917-66005-0	1	
⑨	パイプマウント	4917-66008-0	1	
⑩	電源ハーネス	4917-66012-0	1	長さ:1.2m
⑪	センサ用ハーネス	4917-66010-0	1	ピン数:4P-4P 長さ:4m
⑫	保護キャップ(4P)	4917-66015-0	1	⑪に付属 ピン数:4P
⑬	表示器用ハーネス	4917-66011-0	1	ピン数:6P-8P 長さ:2m
⑭	保護キャップ(6P)	4917-66014-0	1	⑬に付属 ピン数:6P
⑮	保護キャップ(2P)	4917-66016-0	1	⑬に付属 ピン数:2P
⑯	シガープラグケーブル	4917-66013-0	1	
⑰	タップケーブル	4917-66019-0	1	赤色、+側
⑱	アースケーブル	4917-66020-0	1	黒色、-側
⑲	コネクタケーブル	4917-66021-0	1	赤色、+側
⑳	落下防止ケーブル	4917-66017-0	2	
㉑	ケース	4917-66018-0	1	
㉒	取扱説明書	3498-20750-0	1	本書

5. 製品各部の名称と機能

5 製品各部の名称と機能

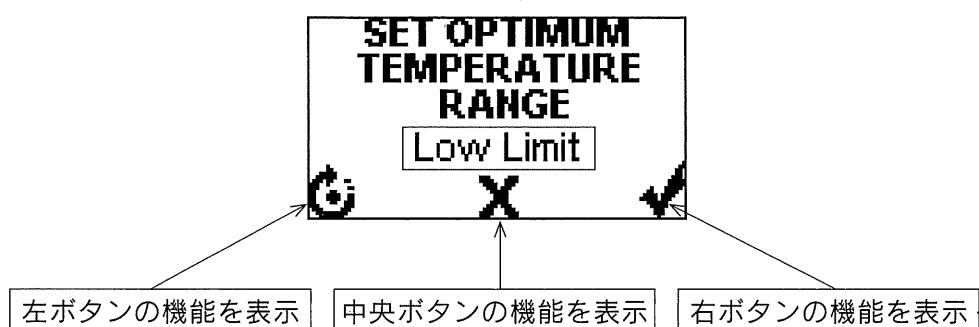
5.1 モニタ



5. 製品各部の名称と機能

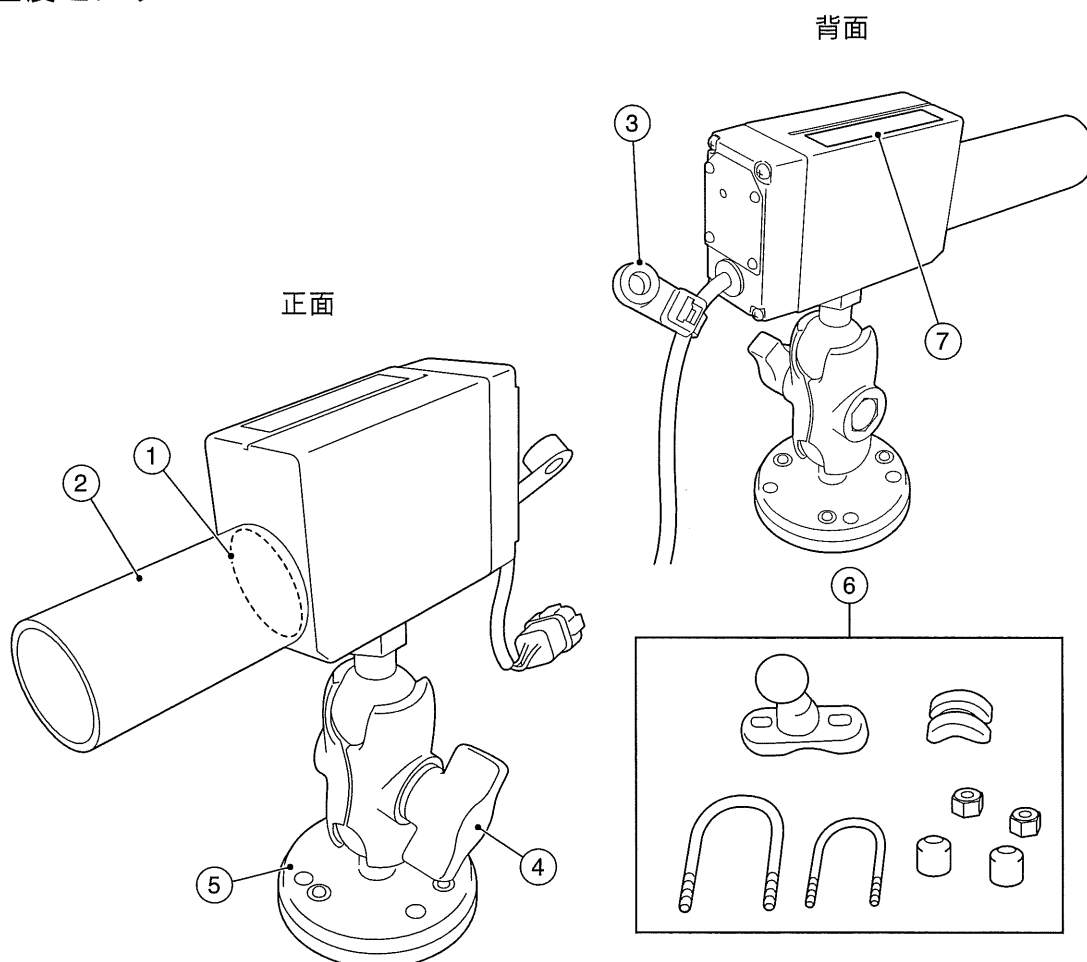
No	名 称	内 容
①	LEDランプ	計測中の温度があらかじめ設定しておいた上限温度または下限温度を超えた場合にLEDランプの色でお知らせします。 消灯 : 測定した温度が設定した上限温度と下限温度の範囲内にある場合 赤色点滅 : 測定した温度が設定した上限温度より高い場合 オレンジ色点滅 : 測定した温度が設定した下限温度より低い場合
②	表示画面	計測中の温度を表示します。 また、各種設定を行うときに設定状況を表示します。(※1下記参照【例】)
③	左ボタン	各種設定を行うときに使用します。 ※詳細は、「A. 温度設定画面」、「B. セットアップ画面」「C. その他設定」におけるボタン操作をご参照ください。
④	中央ボタン	
⑤	右ボタン	
⑥	落下防止フック用穴	設置時に、落下防止ケーブルを付けることで、温度モニタの落下を防止します。
⑦	角度調整ネジ	モニタの角度調節に使用します。
⑧	固定用マグネット	平面な鉄板部に設置します。
⑨	シリアルナンバー 例 : BA148T 001	モニタ上面にあり、1台ごとの固有の番号です。修理や交換が必要な場合、この番号が必要となる場合がありますので、お控えください。

※1 下図は設定状況画面の一例です。(下限温度設定の画面)



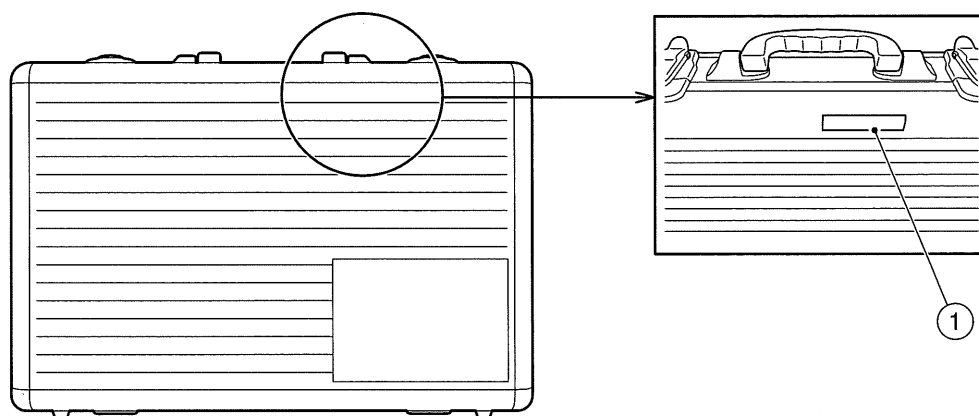
5. 製品各部の名称と機能

5.2 温度センサ



No	名 称	内 容
①	レンズ	赤外線が照射されます。
②	レンズ保護具	レンズに埃や水を付着させないための保護具です。 ※絶対に取り外さないでください。保証の対象外になります。
③	落下防止フック	設置時に、落下防止ケーブルを付けることで、温度センサの落下を防止します。
④	角度調整ネジ	センサの角度調節に使用します。
⑤	固定用マグネット	平面な鉄板部に設置します。
⑥	パイプマウント	固定用マグネットで固定できない場合、代わりに使用します。直径15～32mmの直径のパイプに固定してください。
⑦	シリアルナンバー 例：BA148T 001	センサ本体上面にあり、1台ごとの固有の番号です。修理や交換が必要な場合、この番号が必要となる場合がありますので、お控えください。

5.3 専用ケース



No	名 称	内 容
①	シリアルナンバー 例： BA148T 001	取っ手付近にあり、1台ごとの固有の番号です。修理や交換が必要な場合、この番号が必要となる場合がありますので、お控えください。

6. 設置方法

6 設置方法

本器を取付けるためには、以下の作業を行う必要があります。

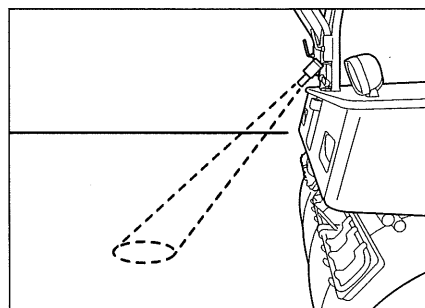
- ①温度センサの設置
- ②モニタの設置
- ③電源ケーブルの設置
- ④配線作業

6.1 温度センサの設置

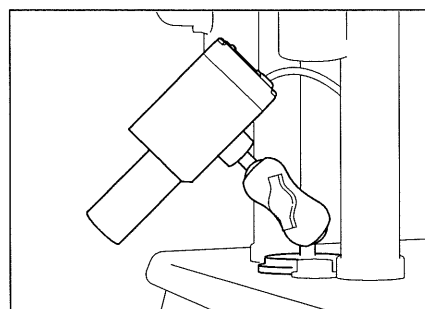
温度センサの固定用マグネットで取付けます。取付け推奨位置は、ローラの駆動輪側（タイヤローラ：後輪、その他ローラ：前輪）です。マグネットで設置出来ない場合は、パイプクランプで取付けてください。

※円錐状に計測範囲が広がっています。設置後、路面だけを計測するよう、角度調節ネジで角度を調整してください。

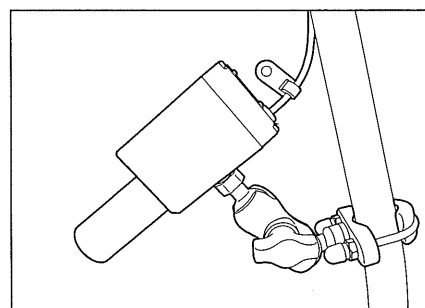
※取付けを行う前に、温度センサのレンズが汚れていないことを確認してください。もし、レンズが汚れている場合には、「9. メンテナンス」の章の説明にしたがって清掃してください。



測定範囲イメージ
※ 実際には見えません



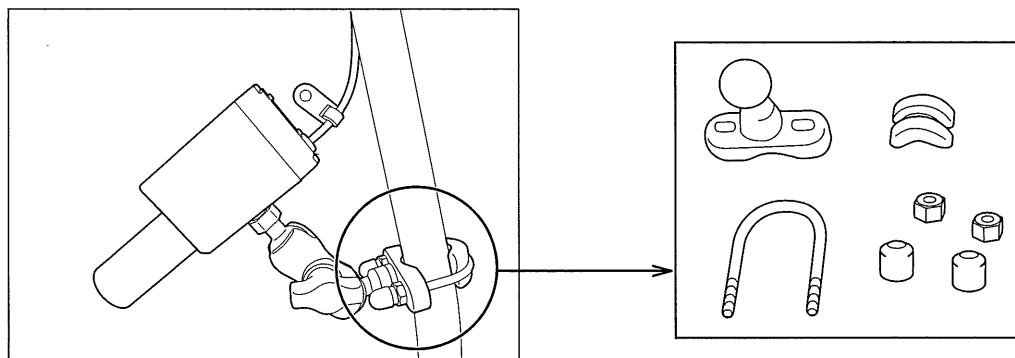
マグネットによる取付け例



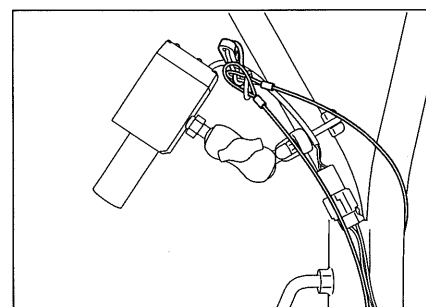
パイプクランプによる取付け例

＝パイプクランプによる取付け方法＝

① 付属のパイプマウントを使用して、下図を参考にしてお取付けください。



② 次に、落下防止ケーブルを用いて、温度センサとローラ本体をつなぎます。このとき、路面に落ちないことを必ず確認してください。



6.2 モニタの設置

① モニタの固定用マグネットで取付けます。取付け推奨位置は、オペレータから見やすく、視界や操作の妨げにならない位置です。

② 次に、落下防止ケーブルを用いて、モニタとローラ本体をつなぎます。このとき、路面に落ちないことを必ず確認してください。

③ ローラの操作、運転、乗り降り、転圧作業の妨げにならないことを確認してください。

6. 設置方法

6.3 電源ケーブルの設置

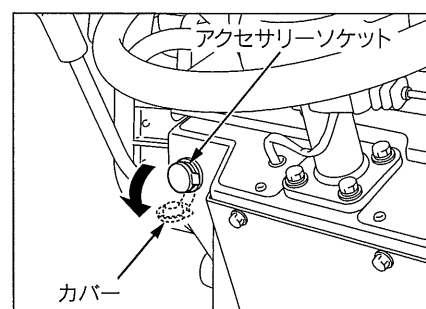
ローラ側電源取り出し部の状況に応じて同梱されている3種類の電源ケーブルを使い分けてください。

⚠ 注 意

本作業を行う前に、ローラの始動スイッチがオフであることを確認して下さい。

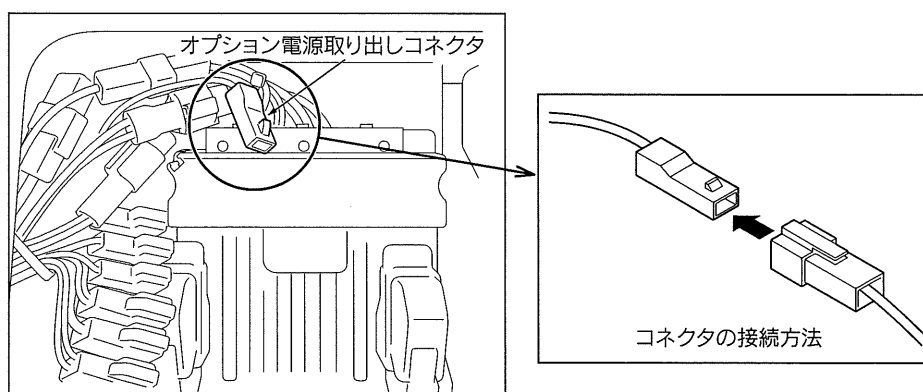
1) アクセサリソケットタイプ

ローラにアクセサリソケットが備わっている場合、同梱のシガーブラグケーブル(4917-66013-0)を使用して接続します。



2) オプション電源取り出しコネクタ

ローラ側電源の取り出しが、下図のようなコネクタタイプが備わっていれば、同梱のコネクタケーブル(4917-66021-0)を使用して接続します。



次にアースケーブル(4917-66020-0)を使用して、適切な場所にアースしてください。

3) その他

ローラに上記「アクセサリソケット」あるいは「オプション電源取り出しコネクタ」が備わっていない場合、同梱のタップケーブル(4917-66019-0)を利用してローラ側電源線に接続して下さい。ローラ側電源線で利用できる太さは、0.5～0.85mm²です。(ローラ側電源線の太さは、ローラ取扱説明書でご確認ください。)

次にアースケーブル(4917-66020-0)を使用して、適切な場所にアースしてください。

6.4 配線作業

以下の手順で配線作業を行います。本作業を進めるにあたり、「12. 結線図」もご参照ください。

注 意

- ・ 本作業を行う前に、ローラの始動スイッチがオフであることを確認してください。
- ・ 配線は、ハーネスに適度にたるみを残しつつ、配線してください。
- ・ センタピンなどの屈曲部、カバーなど開閉部、レバーやスイッチ操作の妨げとならないように配線してください。

1) 電源ハーネスの接続

「6.3 電源ケーブルの取付け」で設置した電源ケーブルに、電源ハーネス(4917-66012-0)のギボシ側を接続します。

2) センサ用ハーネスの接続

既に設置した温度センサと電源ハーネス間を、センサ用ハーネス(4917-66010-0)で接続します。

3) 表示器用ハーネスの接続

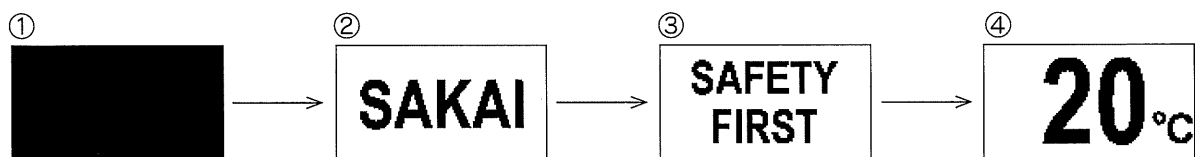
既に設置したモニタと電源ハーネス間を、表示器用ハーネス(4917-66011-0)で接続します。

7. 使用方法

7 使用方法

7.1 立ち上げ画面

電源を入れると次の順で表示されます。

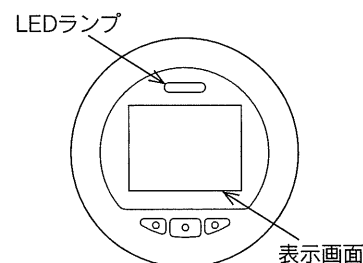


(1) LEDランプがオレンジ色に1.5秒間点灯します。

(2) SAKAIロゴ表示と同時にLEDが赤色に1.5秒間点灯します。

(3) SAFETY FIRSTと表示されLEDランプが1.5秒間消えた後、温度が表示されます。

※電源入後温度表示画面に自動的に移行します。

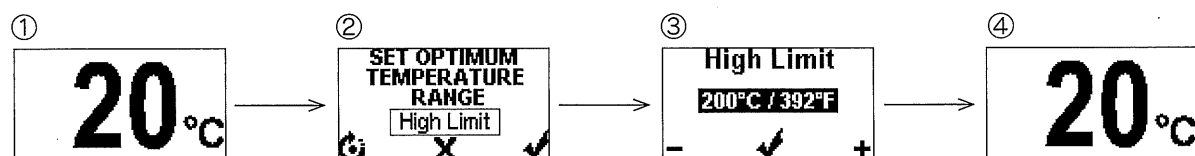


7.2 温度設定画面

ここでは、上限温度と下限温度の設定方法をご説明します。

設定は保存され、次回立ち上げ時に再設定の必要はありません。

7.2.1 上限温度設定画面



(1) 温度表示画面で中央ボタンを押します。

(2) 表示画面が“High Limit”の場合は、右ボタンを押して

③の上限温度設定画面に移行します。

表示画面が“Low Limit”の場合は左ボタンを押して

“High Limit”画面にしてから右ボタンを押して

③の上限温度設定画面に移行してください。

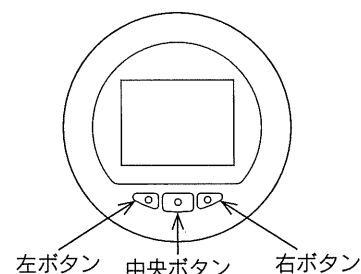
(3) 表示されている温度が、現在の上限設定温度です。

変更する場合は、左右のボタンを押して温度を変更してください。中央ボタンを押すと設定を保存します。

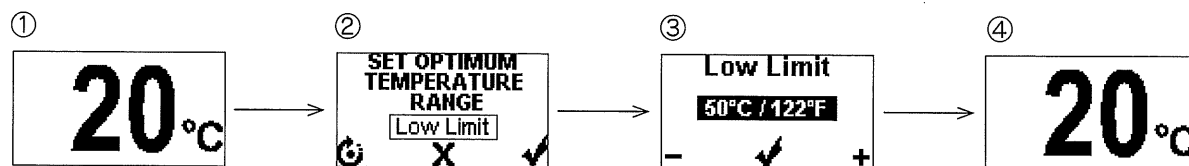
- ・ 左ボタンを押すと1℃温度が下がります。
- ・ 右ボタンを押すと1℃温度が上がります。
- ・ 左ボタンを長押しすると0.5秒毎に10℃ずつ温度が下がっていきます。
- ・ 右ボタンを長押しすると0.5秒毎に10℃ずつ温度が上がっていきます。
- ・ 上限温度は50℃/122°F～200℃/392°Fまで設定出来ます。

※上限温度は下限温度以下には設定できません。

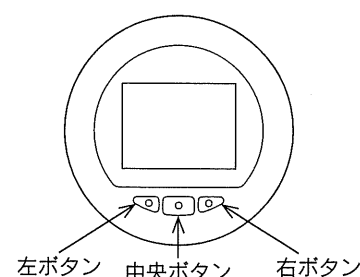
(4) 希望の温度になりましたら、中央ボタンを押して温度表示画面に戻ってください。



7.2.2 下限温度設定



- (1) 温度表示画面で中央ボタンを押します。
- (2) 表示画面が“High Limit”の場合は、左ボタンを押して“Low Limit”画面にしてから、右ボタンを押して③の下限温度設定画面へ移行してください。表示画面が“Low Limit”の場合、右ボタンを押して③の下限温度設定画面へ移行してください。
- (3) 表示されている温度が、現在の下限設定温度です。



変更する場合は、左右のボタンを押して温度を変更してください。
中央ボタンを押すと設定を保存します。

- 左ボタンを押すと1℃温度が下がります。
- 右ボタンを押すと1℃温度が上がります。
- 左ボタンを長押しすると0.5秒毎に10℃ずつ温度が下がっていきます。
- 右ボタンを長押しすると0.5秒毎に10℃ずつ温度が上がっていきます。
- 下限温度は、50℃/122°F～200℃/392°Fまで設定出来ます。

※下限温度は上限温度以上には設定できません。

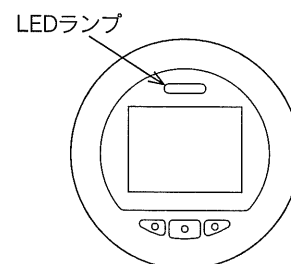
- (4) 希望の温度になりましたら、中央ボタンを押して温度表示画面に戻ってください。

7.2.3 最適温度の見方

上限温度を越えるとき、下限温度に満たないときは、表示器上部のLEDランプが点滅します。

設定温度範囲内のときは、消灯します。

- 赤色点滅 : 上限温度より高い場合。
- オレンジ色点滅 : 下限温度より低い場合。



7. 使用方法

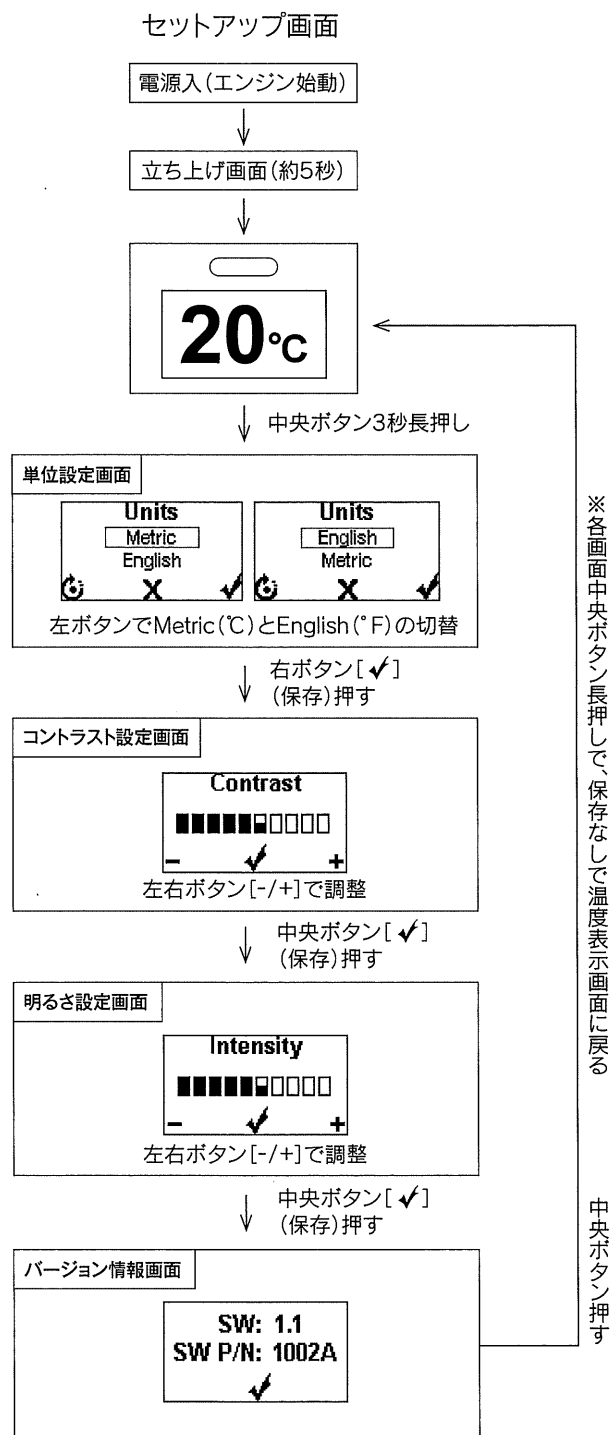
7.3 セットアップ画面

ここでは、単位、コントラスト、明るさといったセットアップの方法をご説明します。

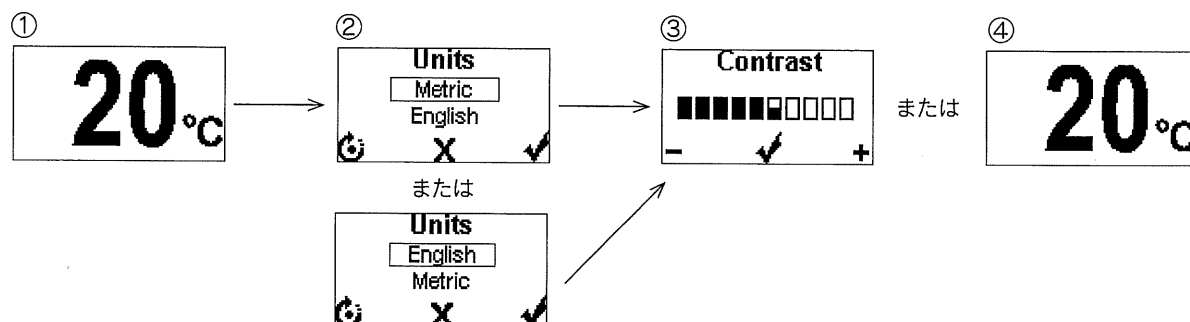
下図は、セットアップのためのフロー図です。

各設定の詳細は、「7.3.1 単位設定」、「7.3.2 コントラスト設定」、「7.3.3 画面明るさの設定」、「7.3.4 バージョン情報」をご確認ください。

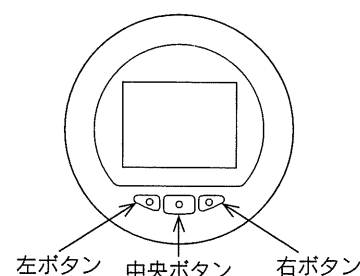
設定は保存され、次回立ち上げ時に再設定をする必要はありません。



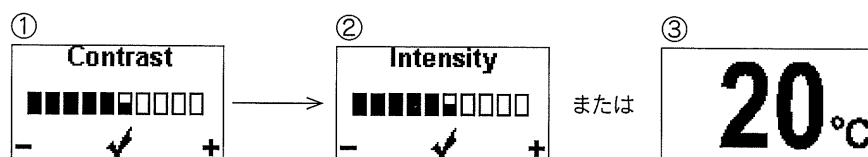
7.3.1 単位設定



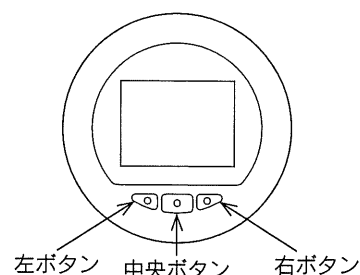
- (1) 温度表示画面で中央ボタンを3秒間長押しすると、②の単位画面へ移行します。
- (2) 左ボタンで“Metric”か“English”を選択します。
 - Metric単位を選択すると、温度は℃(セ氏)で表示されます。
 - English単位を選択すると、温度は°F(華氏)で表示されます。
- (3) ②の単位画面で右ボタンを押すと、選択した単位が保存され、③のコントラスト調節画面に移行します。
- (4) ②の画面で中央ボタンを長押しすると設定は保存されず、④の温度画面に移行します。



7.3.2 コントラスト設定

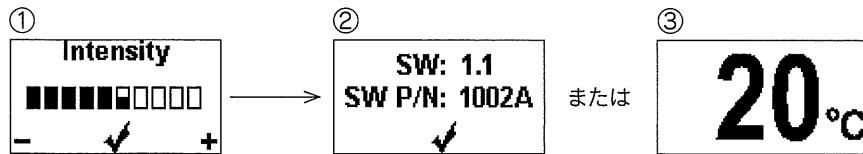


- (1) 単位画面で中央ボタンか右ボタンを押す、または、温度表示画面で中央ボタン長押しの後、再度中央ボタンか右ボタンを押すと、コントラスト画面が表示されます。
 コントラスト画面には、現在の設定が表示されています。
 変更する場合は、左右のボタンでコントラストの増減を調節し、中央ボタンを押して設定を保存してください。
 - 調節範囲は5%ごとに0～100%まで設定できます。
 - 左ボタンを押すとコントラストが5%ずつ減ります。
 - 左ボタンを長押しするとコントラストが0%になるまで連続して減ります。
 - 右ボタンを押すとコントラストが5%ずつ増えます。
 - 右ボタンを長押しするとコントラストが100%になるまで連続して増えます。
- (2) ①のコントラスト画面で中央ボタンを押すと設定が保存され、バックライト調節画面に移行します。
- (3) ①のコントラスト画面で中央ボタンを長押しすると設定は保存されず、温度表示画面に移行します。



7. 使用方法

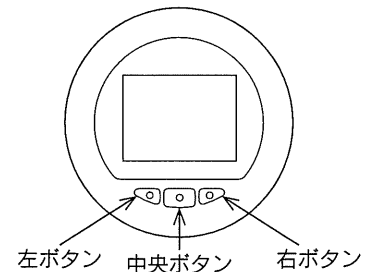
7.3.3 画面明るさの設定



- (1) コントラスト画面で中央ボタンを押す、または温度表示画面で中央ボタン長押しの後2回中央ボタンを押すと、画面明るさの設定画面が表示されます。

明るさ調節バーには現在の設定が表示されています。

変更する場合は、右ボタンまたは左ボタンで明るさの増減を調節し、中央ボタンを押して設定を保存してください。

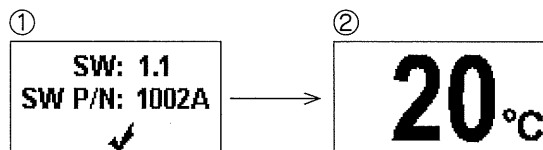


- ・調節範囲は5%ごとに0～100%まで表示されます。
- ・左ボタンを押すと画面が5%ずつ暗くなります。
- ・左ボタンを長押しすると画面が0%になるまで暗くなり続けます。
- ・右ボタンを押すと画面が5%ずつ明るくなります。
- ・右ボタンを長押しすると画面が100%になるまで明るくなり続けます。

- (2) ①の明るさの設定画面で中央ボタンを押すと設定が保存され、バージョン情報画面に移行します。

- (3) ①の明るさの設定画面で中央ボタンを長押しすると設定は保存されず、温度表示画面に移行します。

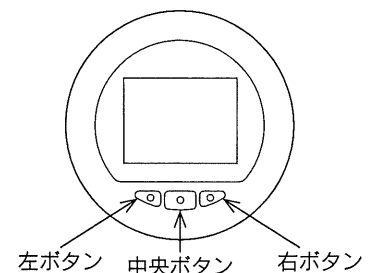
7.3.4 バージョン情報



- (1) 画面の明るさ設定画面で中央ボタンを押す、または温度表示画面で中央ボタン長押しの後3回中央ボタンを押すと、バージョン情報画面が表示されます。

この画面には、現在インストールされているソフトのバージョン情報が表示されます。

- (2) ①のバージョン情報画面で中央ボタンを押すと、温度表示画面になります。

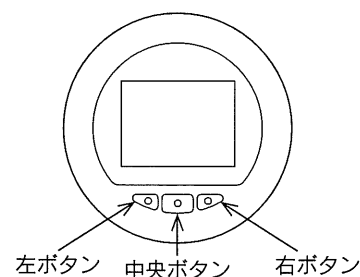


7.4 その他の機能

7.4.1 画面シャットオフ機能

画面表示をオフにします。

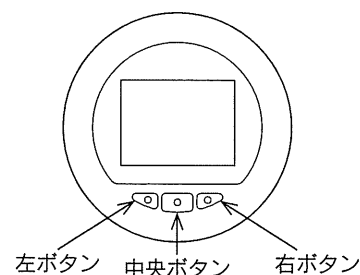
- (1) 右ボタンと左ボタンを同時に3秒間長押しすると、画面表示が消えます。
- (2) 3つのボタンのうち、いずれかのボタンを押せば復帰します。



7.4.2 温度表示ホールド機能

現在の温度表示を保持します。

- (1) 右ボタンを2度押しすると、表示を維持します。
- (2) 3つのボタンのうち、いずれかのボタンを押せば復帰します。



※画面シャットオフ機能あるいは温度表示ホールド機能の状態でローラのエンジンを切った場合、次に電源を立ち上げると最初の画面に戻ります。

7.5 計測

※作業開始前に必ず本器の動作確認を行ってください。

※本器の測定範囲は障害物の大きさ、形状の違いにより測定範囲に誤差が生じます。

※計測中、路面温度が水や風の影響により一時的に温度が低く表示される場合があります。

7.5.1 計測準備

ローラのエンジンを始動させると本器に電源が供給され、表示器に立ち上げ画面が表示されます。

7. 使用方法

7.5.2 計測

電源が供給されている間、常に路面の表面温度を計測・表示します。

※温度センサを使用しない場合など、左ボタンと右ボタンの長押しにより、任意で温度表示を消すことができます。(画面シャットオフ機能) 3つのボタンのうち、いずれかのボタンを押せば復帰します。

※作業中に温度の表示を維持したい場合は、右ボタン2度押しにより、表示を維持することが可能です(温度表示ホールド機能)。3つのボタンのうち、いずれかのボタンを押せば復帰します。

※運転中、モニタの操作はしないでください。

※モニタ前面ガラスの内部と外部に温度差がある場合、ガラス内面が曇る場合があります。曇りは温度差が無くなってしばらく経つと消えます。温度や設定画面が正常に表示されている限りは、そのままご使用できます。

※異常を検知したら、ただちに本器のご使用を中止し、ご購入頂いた販売店へお問合せ下さい。

7.5.3 停止

ローラのエンジンを停止させる事により、自動で本器の電源が切れます。

注 意

センサは精密機器のため、サージ電圧によって破損する可能性があります。エンジンは、必ずスロットルレバー、スロットルスイッチをアイドル位置にした後、エンジンを停止してください(サージ電圧によるセンサ関係の故障は保証の対象外となります)。

=エンジン停止方法の違いによる注意点=

①燃料カット方式(TS200など)

エンジンをアイドル状態にしてから始動スイッチをOFFの位置にしてください。

②デコンプ(圧縮圧抜き)方式(TS7409/TS150など)

エンジンの圧縮を抜いて、エンジンが停止してから始動スイッチをOFFの位置にしてください。

7.5.4 計測後

計測後は盗難防止のため、温度センサとモニタは取り外し、専用ケースに入れて適切な場所に保管してください。防水キャップのあるものは、防水のため専用の防水キャップをお付けください。

※長期間ご使用にならない場合には、温度センサ・モニタ・ケーブルすべてははずし、専用ケースに入れて適切な場所に保管してください。

8 トラブルシューティング

異常が生じたときは、下記を参考に点検してください。

それでも直らない場合、弊社またはご購入頂いた販売店へお問合せください。

=現象:電源表示灯が点灯しない=

原因

電源が供給されていない

→

対策

ケーブルの接続を確認する。

電源電圧が規定値にない

→

電源電圧を確認する。

=現象:測定値が異常である=

原因

レンズに水滴が着いている

→

水滴を拭き取る。

※「9.メンテナンス」を参照

レンズが汚れている

→

レンズの汚れを拭き取る。

※「9.メンテナンス」を参照

ケーブルの接続が緩んでいる

→

ケーブルの接続を確認する。

ノイズが混入している

→

ノイズ源から離す。

設定が適切でない

→

正しく設定する。

9 メンテナンス

レンズに汚れがないか、定期的に点検してください。

レンズに水分や油分が付着した場合には、温度計測に影響が出ます。

必ず、拭き取って計測をするようにしてください。

綺麗な綿棒などで、レンズに傷を付けない様に拭き取ってください。

水分の場合には、拭き取った後は、自然乾燥をしてください。

油汚れがひどい場合には、無水アルコール・アセトンなどの揮発性の高い溶剤を使用してレンズ部を清掃してください。

※別売りの温度計専用洗浄剤(無水アルコール)をご使用ください。

☆推奨品:オリンパス「HYPER CLEAN EE-6310」



注 意

レンズ保護具は絶対に外さないでください。保証の対象外になります。

10 センサの校正について

センサ・測定器の信頼性を維持・管理するためには、正しく使用し、いつも正常な状態に保つことが必要です。日常点検を行っているからと安心するのではなく、適正な精度維持、管理を目的としたトレーサビリティに基づいた定期健診（校正）が必要です。

当社の推奨校正周期は1年としており、受託校正を承っております。校正が必要な際は、ご購入頂いた販売店へお問合せ下さい。

- ・ 校正とは「トレーサビリティのとれた標準器を使用し、指定された環境下で当該装置（測定器）が表す値が標準器とどれだけ差があるかを確認する」ことです。

※標準器、標準試料などを用いて測定器の表す値とその真の値との関係を求めること（JIS Z 8103）。

- ・ トレーサビリティとは「測定値が国家標準につながっている」ことを証明するものです。当社の校正システムは国家計量標準に続くトレーサビリティが確立されています。

※標準器または測定器が、より高位の測定標準によって次々と校正され、国家標準・国家標準につながる経路が確立されていること（JIS Z 8103）。

- ・ 校正周期の決定は一般的には使用者が使用条件等により決めることが原則となっております。

11 保証と修理

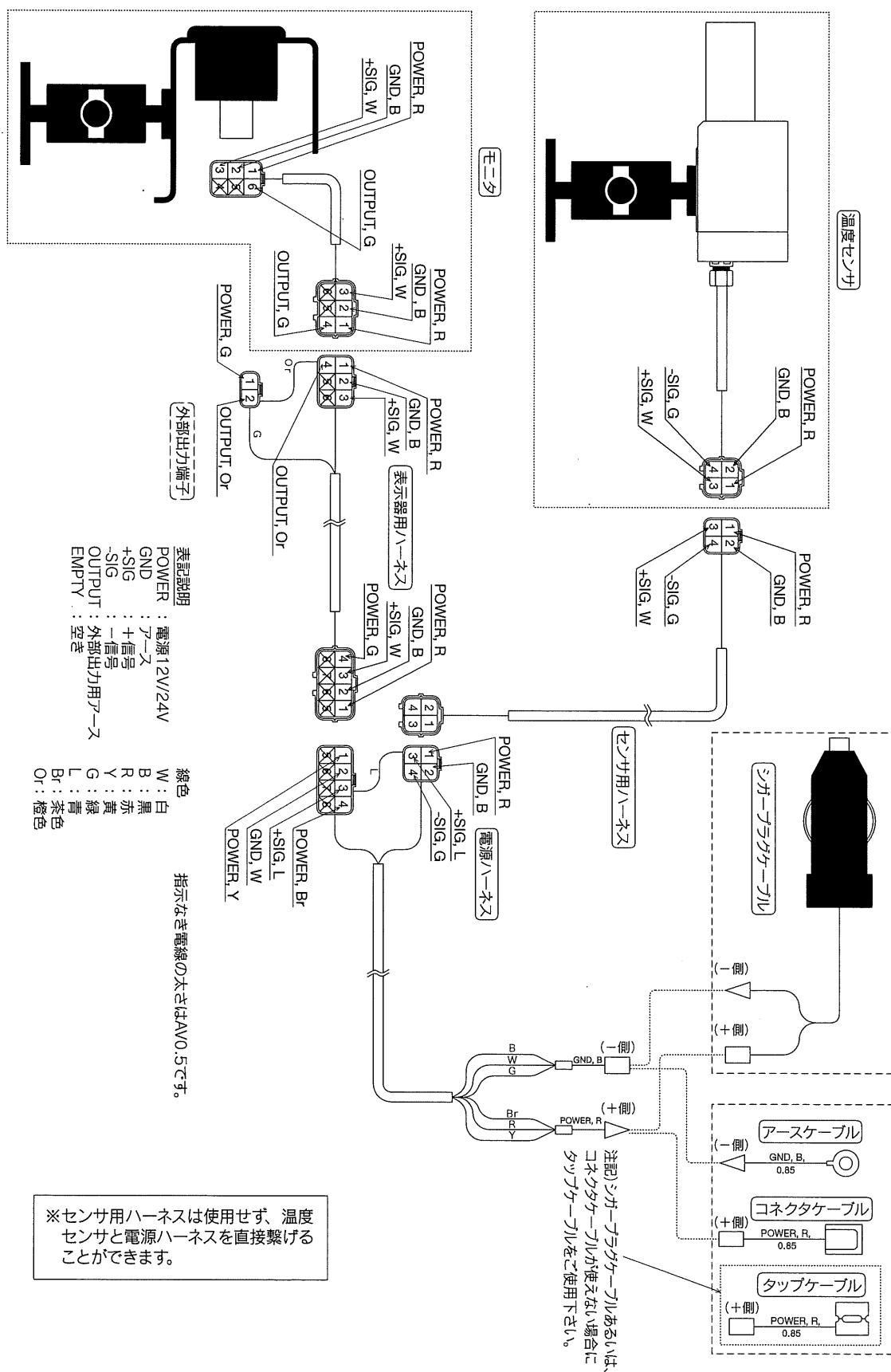
本器の品質保障期間は納入後1年間です。この期間内に通常の使用条件下で故障が発生した場合は、ご購入頂いた販売店までお問合せください。

なお、分解や改造した場合および通常でない状態での使用に対する責任は負いません。

また故障・修理の場合は、不具合の具体的内容をシリアルナンバーとともにご連絡ください。

この製品の保証用性能部品の最低保有期間は、製造中止後5年です。

12 結線図



13. 全体図・諸元

13 全体図・諸元

製 品 名	赤外線式放射温度計	外 形 寸 法	温度センサ： H162×W32×L145mm
型 式	SRT-300		モニタ： H195×W70×L110mm
測 定 温 度 範 囲	0 ～ 300℃	質 量	温度センサ：480g
応 答 時 間	100ms		モニタ：480g
測 定 計 / 測 定 距 離	φ95 / 1,000mm	取 付 方 法	マグネットによる取り付け方式（マグネットを取りはずし、ブラケットによるパイプクランプも可能）
	φ205 / 2,000mm		
精 度 定 格	300℃未満：±3℃	耐 環 境 性	センサ：IPX2 相当
測 定 波 長	8 ～ 14 μm		モニタ：IP67
装 置 構 成	温度センサおよび モニター式		
電 源 電 圧	DC12 ～ 30V		

平成 27 年 2 月 初版

不許複製

赤外線式放射温度 SRT-300

取 扱 説 明 書

酒井重工業株式會社

本 社 東京都港区芝大門 1-4-8 浜松町清和ビル 電 話 03 (3434) 3401 (代表)
グローバル サービス部 埼 玉 県 久 喜 市 高 柳 2500 電 話 0480 (52) 1111 (代表)

2015. 02. 50 ①©

酒井重工業株式會社
